

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 事業名 | 映像文化財保存・活用事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 大町映像文化財を残す会 (大町市平 2112-598) |
| 事業区分 | (3) 教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,108,038 円 |

事業内容

大町市民の過程に眠る貴重な映像の発掘を行い、デジタル化、映画化、上映会を行なう。
本年は、故阿部直行カメラマンから寄贈されたベークムテープ約200本をチェックし、そのうち貴重な映像の約50本デジタル化・整理する。
また、その映像を利用し、映画づくりを行う。
文化継承、娯楽のために、上映会を行なう。



【上映会風景】

事業効果

- ※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
- ①ベークムテープ約200本をチェックし、そのうち貴重な映像の約50本デジタル化を行なった。
 - ② ①の映像を使い、新作映画『高瀬川に響く平和の鐘 (14分)』を完成
 - ③今年度は10回の上映会を開催し、延べ195人の市民にご覧いただき、伝統文化の継承に寄与したほか、特に高齢者の皆さんに楽しんで頂き、大変喜んでいただけた。

【目標・ねらい】

- ①市民の家に眠る貴重な映像を発掘し、デジタル化することで保存。
- ②映画をつくりと上映会開催により文化の継承にきずる。

※自己評価【B】

今後の取り組み

- ※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
- ・引き続き、貴重な映像を発掘、デジタル化や映画づくりを行なっていきたい。
 - ・多くの市民が映像を文化としてとらえ、撮影、編集がする人が増えるように教室などを開いていきたい。

【理由】

予定していた事業はすべて行なうことができた。映画の完成が予定より遅れたのが残念であった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある